



2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月11日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8079 URL https://shoeifoods.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)加納 一徳 (TEL)03(3253)1211
 四半期報告書提出予定日 2023年9月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日~2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	82,224	5.9	3,195	△10.7	3,283	△14.6	2,194	△15.7
2022年10月期第3四半期	77,639	—	3,581	△3.1	3,846	1.7	2,605	5.0

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 2,250百万円(△54.4%) 2022年10月期第3四半期 4,941百万円(47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	130.32	—
2022年10月期第3四半期	154.75	—

(注) 前第1四半期連結累計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。2022年10月期第3四半期に係る各数値については当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	84,327	50,616	58.9
2022年10月期	82,851	49,158	58.2

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 49,692百万円 2022年10月期 48,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2023年10月期	—	24.00	—		
2023年10月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日~2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	3.6	3,500	△6.6	3,600	△12.0	2,400	△13.9	142.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年10月期3Q	17,100,000株	2022年10月期	17,100,000株
2023年10月期3Q	257,536株	2022年10月期	263,300株
2023年10月期3Q	16,839,604株	2022年10月期3Q	16,834,119株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	増減率
売上高	77,639	82,224	5.9%
営業利益	3,581	3,195	△10.7%
経常利益	3,846	3,283	△14.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,605	2,194	△15.7%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により経済活動は回復の兆しが見える反面、物価の上昇を背景に消費動向には陰りが見えており、円安の進行など、景気の先行きは不透明な状況が続きました。食品業界におきましては、原材料価格や物流費などの上昇に対応した値上げが継続しました。このような状況にあって当社グループでは、工場を活用した付加価値商品の提案、次回商品展示会に向けた商品開発、仕入先の人権対応調査の実施によるサステナビリティへの対応などを進めてまいりました。

これらの結果、売上面につきましては、原材料費・物流費等の上昇を反映した価格引上げもあり、乳製品・油脂類、菓子・リテール商品類など日本国内での売上が増加したことから、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比5.9%増の822億24百万円となりました。

利益面につきましては、値上げの浸透もあり日本セグメントでは前年並みの利益を維持しましたが、米国でのクルミ事業の採算低下等により、営業利益は同10.7%減の31億95百万円となりました。経常利益は同14.6%減の32億83百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同15.7%減の21億94百万円となりました。

当第3四半期の品目別の業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)		当連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	24,144	31.1%	26,014	31.6%	1,870	7.7%
製菓原材料類	12,943	16.7%	14,449	17.6%	1,506	11.6%
乾果実・缶詰類	26,751	34.5%	26,930	32.8%	178	0.6%
菓子・リテール商品類	13,526	17.4%	14,575	17.7%	1,048	7.7%
その他	272	0.3%	254	0.3%	△18	△6.7%
合計	77,639	100.0%	82,224	100.0%	4,585	5.9%

所在地別セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当地域の売上高は、コスト上昇を反映した値上げの浸透等から、乳製品・油脂類、菓子・リテール商品類など、総じて売上増加となり、前年同期比7.0%増の749億99百万円となりました。

セグメント利益は、エネルギーコスト・物流費増等のコストアップ要因はありましたが、輸入原材料価格上昇の落ち着きや工場の稼働率上昇、値上げ効果などの要因から、同1.7%増の28億59百万円となりました。

② 米国

当地域の売上高は、主力のクルミで販売物量は増加しましたが、市場価格の低下により販売単価が低下したこと等から、前年同期比18.2%減の65億10百万円となりました。

セグメント利益は、前期は販売契約後にクルミ価格が大きく低下し、これを反映して農家からの仕入価格を引き下げることができたため利ざやが拡大しましたが、今回は同様の利ざやを確保できなかったことから、同51.1%減の6億34百万円となりました。

③ 中国

当地域の売上高は、中国産シード類等の輸出は減少しましたが、中国及び香港での売上が増加したことから、前年同期比5.7%増の62億43百万円となりました。

セグメント利益は、中国産シード類輸出採算の改善や香港での販売好調もあり赤字幅は縮小しましたが、中国内販売では採算改善に繋がれておらず、21百万円のセグメント損失（前年同期は1億89百万円の損失）となり、赤字が継続しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億76百万円増加し、843億27百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「原材料及び貯蔵品」が5億89百万円減少したものの、「現金及び預金」が8億46百万円、「受取手形及び売掛金」が3億91百万円、「商品及び製品」が13億91百万円、「仕掛品」が1億48百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ16億50百万円増加し、532億49百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が3億66百万円増加したものの、有形固定資産が5億53百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少し、310億78百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ17百万円減少し、337億11百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「短期借入金」が8億46百万円増加したものの、「支払手形及び買掛金」が1億65百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が8億80百万円、「未払金」が2億16百万円、「未払法人税等」が1億22百万円、「賞与引当金」が4億21百万円それぞれ減少したことから、前連結会計年度末に比べ8億41百万円減少し、262億67百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」が7億11百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ8億40百万円増加し、74億43百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億58百万円増加し、506億16百万円となりました。その主な要因は、「繰延ヘッジ損益」が3億23百万円減少したものの、「利益剰余金」が13億86百万円、「その他有価証券評価差額金」が3億90百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当第3四半期連結累計期間の業績や現時点での当社を取り巻く経営環境などを勘案した結果、2023年3月14日に公表いたしました2023年10月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年10月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,867,293	8,713,571
受取手形及び売掛金	20,285,365	20,676,862
商品及び製品	17,619,921	19,011,694
仕掛品	1,017,000	1,165,415
原材料及び貯蔵品	2,743,091	2,153,359
前渡金	584,685	585,071
その他	1,485,059	947,158
貸倒引当金	△3,626	△3,401
流動資産合計	51,598,792	53,249,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,672,234	13,136,003
機械装置及び運搬具（純額）	6,597,078	6,581,341
工具、器具及び備品（純額）	334,023	349,089
土地	3,535,308	3,584,482
リース資産（純額）	60,927	66,772
建設仮勘定	350,932	290,307
その他（純額）	351,109	339,800
有形固定資産合計	24,901,613	24,347,797
無形固定資産		
ソフトウェア	127,268	129,652
その他	151,971	162,303
無形固定資産合計	279,239	291,955
投資その他の資産		
投資有価証券	3,569,486	4,070,593
保険掛金	25,249	29,080
繰延税金資産	232,256	79,437
長期前払金	1,945,050	1,944,022
その他	390,976	406,269
貸倒引当金	△90,794	△90,950
投資その他の資産合計	6,072,223	6,438,452
固定資産合計	31,253,077	31,078,205
資産合計	82,851,870	84,327,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,579,403	10,414,221
短期借入金	8,803,952	9,650,374
1年内返済予定の長期借入金	3,251,476	2,371,476
未払金	2,098,822	1,882,224
未払法人税等	388,111	278,274
賞与引当金	918,285	496,381
役員賞与引当金	10,767	4,650
その他	1,039,897	1,170,213
流動負債合計	27,090,716	26,267,815
固定負債		
長期借入金	5,038,133	5,749,526
繰延税金負債	174,558	252,103
退職給付に係る負債	924,580	944,154
役員退職慰労引当金	79,499	92,670
その他	385,708	404,811
固定負債合計	6,602,479	7,443,266
負債合計	33,693,195	33,711,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,055,283	3,059,298
利益剰余金	37,341,125	38,727,427
自己株式	△910,568	△890,779
株主資本合計	42,865,576	44,275,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546,959	1,937,543
繰延ヘッジ損益	422,721	99,674
為替換算調整勘定	3,548,784	3,467,948
退職給付に係る調整累計額	△111,845	△88,515
その他の包括利益累計額合計	5,406,620	5,416,650
非支配株主持分	886,477	924,522
純資産合計	49,158,674	50,616,855
負債純資産合計	82,851,870	84,327,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上高	77,639,505	82,224,976
売上原価	64,552,700	69,097,599
売上総利益	13,086,805	13,127,376
販売費及び一般管理費	9,505,554	9,931,946
営業利益	3,581,250	3,195,429
営業外収益		
受取利息	9,355	12,833
受取配当金	75,423	81,485
為替差益	150,862	-
持分法による投資利益	24,319	21,231
保険配当金	32,504	3,053
受取保険金	1,032	1,556
出資配当金	-	35,886
工場誘致奨励金	-	35,091
その他	66,482	49,958
営業外収益合計	359,980	241,096
営業外費用		
支払利息	90,586	94,638
為替差損	-	56,378
その他	4,403	1,704
営業外費用合計	94,989	152,721
経常利益	3,846,241	3,283,804
特別利益		
固定資産売却益	1,980	3,590
特別利益合計	1,980	3,590
特別損失		
固定資産除却損	16,158	13,309
固定資産売却損	343	102
特別損失合計	16,502	13,411
税金等調整前四半期純利益	3,831,720	3,273,982
法人税、住民税及び事業税	1,007,506	847,788
法人税等調整額	159,464	189,400
法人税等合計	1,166,970	1,037,188
四半期純利益	2,664,749	2,236,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	59,510	42,190
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,605,238	2,194,604

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	2,664,749	2,236,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,167	394,539
繰延ヘッジ損益	124,773	△323,047
為替換算調整勘定	2,154,874	△80,835
退職給付に係る調整額	15,736	23,329
その他の包括利益合計	2,277,216	13,985
四半期包括利益	4,941,965	2,250,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,885,484	2,204,634
非支配株主に係る四半期包括利益	56,480	46,145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	69,559,628	4,539,554	3,538,318	77,637,502	—	77,637,502
その他の収益(注) 3	2,003	—	—	2,003	—	2,003
外部顧客への売上高	69,561,632	4,539,554	3,538,318	77,639,505	—	77,639,505
セグメント間の 内部売上高又は振替高	496,470	3,428,355	2,367,168	6,291,995	△6,291,995	—
計	70,058,102	7,967,910	5,905,487	83,931,500	△6,291,995	77,639,505
セグメント利益又は損失(△)	2,810,173	1,299,504	△189,432	3,920,245	△338,995	3,581,250

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△338,995千円には、セグメント間消去△89,229千円、全社費用△249,765千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	74,229,245	3,742,460	4,251,257	82,222,963	—	82,222,963
その他の収益(注) 3	2,012	—	—	2,012	—	2,012
外部顧客への売上高	74,231,258	3,742,460	4,251,257	82,224,976	—	82,224,976
セグメント間の 内部売上高又は振替高	768,235	2,768,104	1,991,760	5,528,100	△5,528,100	—
計	74,999,493	6,510,564	6,243,018	87,753,076	△5,528,100	82,224,976
セグメント利益又は損失(△)	2,859,032	634,359	△21,406	3,471,985	△276,555	3,195,429

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△276,555千円には、セグメント間消去△24,926千円、全社費用△251,628千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。